# 令和５年度　外国語「英語コミュニケーションⅠ」(体育科)　シラバス

| 科目名 | 単位数 | 学 年 | 履　修 | 対象学科 |
|---|---|---|---|---|
| 英語コミュニケーション Ⅰ | ３単位 | １学年 | 必　修 | 体育科 |

1.英語コミュニケーションⅠの目標

日常的・社会的な話題について，話される速さや使用する語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，
1．必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。
2．必要な情報を読み取り，聞き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。
3．基本的な語句や文を用いて，情報を考え，気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合うことができる。
4．基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5．基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2．成績評価の方法（観点別学習評価）

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的な学習態度 |
|---|---|---|---|
| 評価材料 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>パフォーマンステスト | パフォーマンステスト<br>単語テスト・授業観察<br>振り返りシート<br>課題・提出物 |
| 割合 | 1 | 1 | 1 |

| 5段階評価 | 観点別学習評価 |
|---|---|
| 5 | AAA |
| 4 | AAB　ABA　BAA |
| 3 | 記載以外の組み合わせ |
| 2 | BCC　CBC　CCB |
| 1 | CCC |

3．使用教材
(1) 教科書名：Applause　English　Communication Ⅰ（開隆堂）
(2) 副 読 本：①Applause　English　Communication Ⅰ　WORKBOOK（開隆堂）
②英単語・熟語　Bricks１　（いいずな書店）
③英単語・熟語　Bricks 1 定着サポートノート（桐原書店）
④参考書 Vision Quest　（啓林館）
(3) 辞　　書：指定なし（各個人で購入した物）

4．授業の形態：HR 単位の一斉授業

5．学習方法
(1) 予習：①新出語句・重要語句など内容理解の上でポイントとなる語句の意味を調べる。
②教科書の QR コードを読み取って、リスニングを行う。
③何度か本文に目を通し、大まかな文脈をつかむ。
④理解できている箇所とそうでない箇所を明確にして授業に臨む。
(2) 授業：①新出語句の発音練習の徹底、重要構文・文型・文法事項、さらに本文全体の内容を把握する。
②本文の音読と聞き取りができるようにする。
③WORKBOOK の問題を解き、既習事項の内容理解を深める。
④語彙力を身につけるため、「英単語・熟語 Bricks１」で単語テストを定期的に行う。
⑤文法力を養うため、「参考書 Vision Quest 」を参照しながら文法事項の学習を進める。
⑥ペアワークやグループ活動などの Activity を通して、英語でのコミュニケーション力を高める。
⑦パフォーマンステスト（発表、インタビュー、ライティングなど）を実施し、表現力・応用力を高める。
(3) 復習：①授業で使ったプリントやワークブックおよび教科書で学んだことを整理し、理解を深める。
②リスニングと音読練習を行う。

6．履修上の注意点
(1)「英単語・熟語 Bricks１」の学習が週末課題となっているので、きちんとやって期限内に提出する。
(2) A4 版ファイルを用意し、授業で配布されたプリントを必ず綴る。
(3) CEFR A1～A2 程度の取得を目指しており、それに対応できる文法力および語彙力の習得を目標にしている。
(4) 辞典を持参して授業を受ける。

7．観点及びその趣旨

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。<br>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 | コミュニケーションの行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図のなどを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |

授業計画

◎その単元において特に重点化して指導し、記録に残す事項

○その単元において指導する事項

| 学期 | 学習項目 | 評価規準 | 領域 聞くこと | 読むこと | 話すこと［やりとり］ | 話すこと［発表］ | 書くこと | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Pre-Lesson | ＜知識・技能＞<br>①いろいろな品詞・文型など英語の構文を理解している。<br>②中学校で既習の基本文型を用いた英文で自己表現する力を身に付けている。 | ○ | ○ | ◎ | ◎ | | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート |
| | | ＜思考・判断・表現＞<br>③定型文以外も用いて３文以上で自己紹介文を仕上げることができる。<br>④友人の自己紹介を聞いて正しく理解し、相手に配慮した適切な質問をすることができる。 | ○ | ○ | ◎ | ◎ | | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | | ＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>⑤質問への応答から会話を発展させ、主体的にやりとりしようとしている。 | ○ | ○ | ◎ | ◎ | | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | | ＜知識・技能＞<br>①世界や日本の素敵な光景が徐々に変わりつつあることに気づき、自然の大切さについて的確に内容を理解している。<br>②SV / SVC / SVO / SVOO / SVOC について理解し、適切に活用することができる。 | ○ | ○ | ◎ | | ○ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート |
| 1 | Lesson 1<br>The Amazing Scenery | ＜思考・判断・表現＞<br>③自然の大切さについて理解し、伝えることができる。<br>④美しい景色を見るために訪れたい場所について発表原稿を書き、伝えることができる。 | ○ | ○ | ◎ | | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | | ＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>⑤訪れたい場所について調べた内容を発表し、聞き手にわかりやすく伝えようとしている。 | ◎ | ○ | ◎ | | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Lesson 2<br>The Mysterious History of Chocolate | ＜知識・技能＞<br>①アステカ帝国やヨーロッパを辿ってきたチョコレートの意外な歴史、日本でどのように普及したのか、現在注目されているチョコレートの効能について的確に内容を理解している。<br>②SVO(that節)・比較について理解し、これらを適切に活用する技能を身に付けている。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート |
| | | ＜思考・判断・表現＞<br>③チョコレートの歴史についての情報を整理し、伝えることができる。<br>④整理した内容を活用し、好きな食べ物についてプレゼンテーションすることができる。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | パフォーマンス課題 |
| | | ＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>⑤好きな食べ物について、その内容を伝えたり、やり取りしようとしている。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Lesson 3<br>The Secrets of Top Athletes | ＜知識・技能＞<br>①アメリカと日本のクラブ活動に対する考え方の違いや、スポーツ活動の利点、トップアスリートの活躍の秘密を理解している。<br>②(現在/過去)完了形・現在完了進行形を理解し、場面に応じて適切に使用することができる。 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート |
| | | ＜思考・判断・表現＞<br>③スポーツやスポーツ選手について分かったことをまとめ、伝えることができる。<br>④所属するクラブや興味ある活動について、考えや気持ちをまとめ、話して伝えることができる。 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | | ＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>⑤将来チャレンジしてみたいスポーツや活動について、考えや気持ちをまとめ、話して伝えようとしている。 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Lesson 4<br>Evolving Airplanes | ＜知識・技能＞<br>①飛行機の歴史や現在と未来の飛行機の違いについて理解している。<br>②助動詞や受動態を理解し、場面に応じて適切に使用することができる。 | ◎ | ○ | ◎ | | ○ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート |
| | | ＜思考・判断・表現＞<br>③未来の飛行機について、意見や考えやその理由をまとめ、伝えることができる。<br>④乗り物を比較し、自分が好きな乗り物について、考えや理由を話し合うことができる。 | ◎ | ○ | ◎ | | ○ | パフォーマンス課題 |
| | | ＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>④乗り物を比較し、自分が好きな乗り物について、考えや理由を話し合おうとしている。 | ◎ | ○ | ◎ | | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | Lesson 5<br>The Symbol of Peace | ＜知識・技能＞<br>①アフリカ中西部のおしゃれ集団「サプール」について理解し、その発祥理由や背景などについて内容を理解している。<br>②動名詞、助動詞、形式主語について理解し、適切に使用することができる。 | ◎ | ◎ | ○ | | ○ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート |
| | | ＜思考・判断・表現＞<br>③アフリカにある２つのコンゴの違いと共通点は何か聞き手に分かりやすく伝えることができる。　④彼らがファッションを通して発信する深いメッセージについて考え、自分の意見を適切に表現することができる。 | ◎ | ◎ | ○ | | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | | ＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>⑤「サプール」の生き方について、また最も大切にしているものについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。 | ◎ | ◎ | ○ | | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Lesson 6<br>Serendipity | ＜知識・技能＞<br>①偉大な発見や身近なものの発祥が意外な出来事がきっかけであることを知り、的確に内容を理解している。<br>②分詞の後置修飾・知覚動詞・使役動詞について理解し、これらを適切に使用した口頭表現ができる。 | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート |
| | | ＜思考・判断・表現＞<br>③セレンディピティの内容について、聞き手に分かりやすく伝えることができる。<br>④身の周りにある他の事例について、発表原稿を書いたり、伝え合うことができる。 | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | | ＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>⑤セレンディピティについて他の事例について調べた内容を発表し、聞き手にわかりやすく伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | パフォーマンス課題 |
| | Lesson 7<br>The Secrets Hidden in Vermeer's Works | ＜知識・技能＞<br>①フェルメールの作品が人々を魅了する理由について的確に理解し、その他の情報についても理解を深めている。<br>②関係代名詞について理解し、これらを適切に使用するための技能を身に付けている。 | ◎ | ◎ | ○ | | ○ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート |
| | | ＜思考・判断・表現＞<br>③作品の背景知識についての情報を整理し、伝えることができる。<br>④フェルメールの作品の中で一番好きなものを理由も含めて書き、グループで異なる意見を取り入れながらやり取りすることができる。 | ◎ | ◎ | ○ | | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | | ＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>⑤好きな絵や写真についてまとめ、その内容を伝えたり、やり取りしようとしている。 | ◎ | ◎ | ○ | | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Lesson 8<br>Endangered Species in the World | ＜知識・技能＞<br>①さまざまな関係代名詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。<br>②関係代名詞の主格、目的格、所有格の役割を理解して身につけている。 | ○ | ○ | | | ◎ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート |
| | | ＜思考・判断・表現＞<br>③さまざまな関係代名詞を用いて、好きな絵や写真について、考えや気持ちを話して伝えている。<br>④質問、理由、説明、主張、描写、要約など、必要な表現方法を選択して適切に伝えている。 | ○ | ○ | | ○ | ◎ | ・授業での取り組み<br>・ワークシート |
| | | ＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>⑤さまざまな関係代名詞を用いて、好きな絵や写真について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。<br>⑥好きな絵や写真について、自らまとめ、やりとりを行い、発表して伝えようとしている。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | パフォーマンス課題 |
| 3 | Lesson 9<br>The Dream of Special Makeup | ＜知識・技能＞<br>①前置詞＋関係代名詞、関係副詞などを理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。<br>②上記の非制限用法を理解し身に付けている。 | ◎ | ◎ | | | ○ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート |
| | | ＜思考・判断・表現＞<br>③前置詞＋関係代名詞、関係副詞などを用いて、好きな動物や植物について、考えや気持ちを話して伝えている。<br>④質問、理由、賛成、反対、説明、主張、要約など、必要な表現方法を選択して適切に伝えている。 | ◎ | ◎ | | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・ワークシート |
| | | ＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>⑤前置詞＋関係代名詞、関係副詞などを用いて、好きな動物や植物について、考えや気持ちを話して伝えようおとしている。<br>⑥好きな動物や植物について、自らまとめ、やりとりを行い、発表して伝えようとしている。 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Lesson 10<br>Purifying Powder | ＜知識・技能＞<br>①関係代名詞what、強調構文などを理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ・評価問題<br>・ワークシート |
| | | ＜思考・判断・表現＞<br>①関係代名詞what、強調構文などを用いて、きれいな水を手に入れる方法について、考えや気持ちを話して伝えている。 | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | | ＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>①関係代名詞what、強調構文などを用いて、きれいな水を手に入れる方法について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。 | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | パフォーマンス課題 |
| | Reading<br>tupera tupera | ＜知識・技能＞<br>①絵本作家のtupera tuperaの考えを知り、その代表作『わくせいキャベジ動物図鑑』を読み、絵本の面白さの一端を理解している。<br>②関係副詞や仮定法の表現・文法を適切に活用できる技能を身につけている。 | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ・評価問題<br>・ワークシート |
| | | ＜思考・判断・表現＞<br>③『わくせいキャベジ動物図鑑』のユニークな内容について、分かりやすく伝えることができる。　④幼少期に読んだ本や絵本についてまとめ、プレゼンテーションすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | パフォーマンス課題 |
| | | ＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>⑤絵本独特の英語表現を学び、『わくせいキャベジ動物図鑑』に倣い、野菜と動物の合体生物を創造し、その理由や考えを伝えることができる。 | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |

# 令和5年度　外国語「論理・表現Ⅰ」（体育科）シラバス

| 科目名 | 単位数 | 学 年 | 履　修 | 対象学科 |
|---|---|---|---|---|
| 論理・表現Ⅰ | 2単位 | 2学年 | 必　修 | 体育科 |

## 1. 論理・表現Ⅰの目標

| 学習の到達目標 |
|---|
| 日常的・社会的な話題について，使用する語句や文，対話の展開などにおいて，多くの支援を活用すれば<br>①基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持などを話して伝えあったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができる。<br>②基本的な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができる。<br>③スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して，基本的な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。<br>④基本的な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。 |

## 2. 成績評価の方法（観点別学習評価）

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的な学習態度 |
|---|---|---|---|
| 評価材料 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>パフォーマンス・テスト | 授業観察・振り返りシート<br>パフォーマンス・テスト<br>課題・提出物・小テスト |
| 割合 | 1 | 1 | 1 |

| 5段階評価 | 観点別学習評価 |
|---|---|
| 5 | AAA |
| 4 | AAB, ABA, BAA |
| 3 | 記載以外の組み合わせ |
| 2 | BCC, CBC, CCB |
| 1 | CCC |

※AとCの混在（AAC, ABC, ACC等）の評価が出る可能性は低いため、表には記載しておりません。

## 3. 使用教材

（1）教科書名：Vision Quest English Logic and Expression Ⅰ Standard（啓林館）
（2）Vision Quest 論理・表現Ⅰ Standard　WORKBOOK（啓林館）
（3）辞　書：指定なし（各個人で購入した物）

## 4. 授業の形態：習熟度授業

## 5. 学習方法

（1）予習　：Model Conversationの語句や表現を調べ、概要を把握し、理解を深めたい部分を把握する。

（2）授業　①帯活動を通して、パフォーマンス課題で使用する表現を練習する。
②場面に応じた表現を学び、自分の考えを表現する。
③ペア・ワークやグループ活動を通して、「話す」、「書く」等の表現力を高める。

（3）復習　：ペア・ワークやグループ活動で取り組んだ言語活動を振り返り、話題に応じた語句や文を書く。

## 6. 観点及びその趣旨

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。<br>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 | ・コミュニケーションの行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図のなどを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 | ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |

◎その単元において特に重点化して指導し、記録に残す事項
○その単元において指導する事項

| 学期 | 学習項目 | 評価規準 | 領域 話すこと［やりとり］ | 話すこと［発表］ | 書くこと | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | Lesson 1<br>I want to introduce my new friend. | ＜知識・技能＞<br>・疑問文、命令文、感嘆文について理解している。<br>・疑問文、命令文、感嘆文の機能を理解し、相手の発話に応答したり、質問するするなど、これらを適切に活用できる技能を身につけている。”☒ | ◎ | | ○ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート |
| | | ＜思考・判断・表現＞<br>相手の発話に対して、適切な表現を用いて応答しながら、理由など自分の考えを表現することができる。☒ | ◎ | | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | | ＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>基本的な文の機能を理解し、読み手や聞き手に配慮してわかりやすく伝えようとしている。 | ◎ | | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | Assistant 1<br><br>Connecting Words<br>文と文をつなぐ | ＜知識・技能＞<br>代名詞やつなぎの言葉、言い換え表現を理解し、これらを適切に活用できる技能を身に付けている。<br>＜思考・判断・表現＞<br>既出の表現を代名詞に置き換えたり、つなぎの言葉を活用して、論理的な構成で書くことができる。<br>＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>これまで自分で買ったものや誰かに譲ったものについて、既習の語彙等を活用し書くことができる。 | ○<br><br>○<br><br>○ | | ◎<br><br>◎<br><br>◎ | ・授業での取り組み<br><br>・取り組み状況<br>・ワークシート<br>・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Lesson 2<br><br>Do you want to join our show? | ＜知識・技能＞<br>・5文型、There be動詞 + 主語について理解している。<br>・基本5文型を活用し、文化祭に向けた計画を説明することができる。<br>＜思考・判断・表現＞<br>”You mean～”など適切な表現を用いて聞き直し、話し手の意図などを的確に確認しすることができる。また、話し手の意見について、賛成または、反対と自分の立場を述べることができる。<br>＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>・学校行事の計画について、クラスメイトと話合い、話し手に配慮しながら、自分の考えを伝えようとしている。 | ◎<br><br>◎<br><br>◎ | | ○<br><br>○<br><br>○ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート<br><br>・取り組み状況<br>・ワークシート<br><br>・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Lesson 3<br><br>I’m planning a day trip this weekend. | ＜知識・技能＞<br>・現在形、過去形を用いて、自分の状態や習慣、出来事などを述べたり相手のことを尋ねることができる。<br>・未来形を用いて、計画や予定について述べたり、相手のことを尋ねることができる。<br>＜思考・判断・表現＞<br>・旅行の経験を具体的にパートナーやクラスに話すことができる。<br>＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>・旅行の経験について、プレゼンテーションし、質疑応答をすることができる。 | | ◎<br><br>◎<br><br>◎ | ◎<br><br>◎<br><br>◎ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート<br><br>パフォーマンス課題<br><br>・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Assistant 2<br><br>Build Up Conversation<br>会話を組み立てる | ＜知識・技能＞<br>会話の展開・進行に役立つ定型表現を理解し、会話を組み立てることができる。<br>＜思考・判断・表現＞<br>会話の展開・進行を考えて、会話を組み立て、パートナーと話すことができる。<br>＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>会話中に互いの理解を確認したり、訂正したりしながら、話すことができる。 | ◎<br><br>◎<br><br>◎ | | ○<br><br><br><br>○ | ・授業での取り組み<br><br>・取り組み状況<br>・ワークシート<br>・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Lesson 4<br><br>Have you ever tried it before? | ＜知識・技能＞<br>・現在完了形・過去完了形・未来完了形の用法を的確に理解している。<br>・趣味や関心ごとに関する単語・表現について理解し、これらを適切に使用するための技能を身に付けている。<br>＜思考・判断・表現＞<br>・完了形を用いて、自分の経験を紹介したり相手の経験を尋ねることができる。<br>・自分の経験とその時の気持ちや考えを具体的かつ論理的に書いたり、伝え合うことができる。<br>＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>スポーツや音楽に関する経験について、パートナーとやり取りし、相手に配慮してわかりやすく伝えようとしている。 | ◎<br><br>◎<br><br>◎ | | ◎<br><br>◎<br><br>◎ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート<br><br>・取り組み状況<br>・ワークシート<br><br>・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Lesson 5<br><br>What do you want to do after school? | ＜知識・技能＞<br>・助動詞の種類と用法を的確に理解している。<br>・自分の将来の夢について伝え合う語句や表現について理解し、これらを適切に使用するための技能を身に付けている。<br>＜思考・判断・表現＞<br>・将来の夢や高校卒業後の進路についての情報を整理し、伝えることができる。<br>・整理した内容を活用して、将来の夢や高校卒業後の進路についてグループ内で発表し、質疑応答することができる。<br>＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>将来の夢についてグループメンバーにわかりやすく伝えようとしている。また他のメンバーの発表を聞いて適切な質問をしようとしている。 | | ◎<br><br>◎<br><br>◎ | ○<br><br>○<br><br>○ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート<br><br>パフォーマンス課題<br><br>・取り組み状況<br>・ワークシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | Assistant 3<br><br>Paragraph<br>パラグラフ | ＜知識・技能＞<br>パラグラフとは何かを理解し、つなぎの言葉を用いて文章を書くことができる。<br>＜思考・判断・表現＞<br>与えられた主題文の支持文と結論文を書くことができる。つなぎの言葉を効果的に用いて、わかりやすい文章を書くことができる。<br>＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>与えられたトピックについて、つなぎの言葉を用いて、論理的な文章を書こうとしている。 | | | ◎<br>◎<br>◎ | ・授業での取り組み<br>・取り組み状況<br>・ワークシート<br>・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Lesson 6<br><br>Did you hear about the new shop? | ＜知識・技能＞<br>・受動態の構造や意味を理解することができる。<br>・原因・影響を表す/喜び・驚きを表す様々な表現を理解し、適切に伝えることができる。<br>＜思考・判断・表現＞<br>・受動態を用いて、原因や影響について表現したり、喜びや驚きの感情を表すなど適切に使い分けることができる。<br>＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>・日常生活での自然な会話例を参考に、自身の買い物について詳細に伝えることができる。 | ○<br>○<br>◎ | | ○<br>◎<br>◎ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート<br>・取り組み状況<br>・ワークシート<br>・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Lesson 7<br><br>I'm happy to have you with us. | ＜知識・技能＞<br>・不定詞の用法を理解し、状況に応じて用法を使い分け、より詳しく情報を伝えることができる。　・会話のやり取りを通し、感情を表すさまざまな表現を身につけることができる。<br>＜思考・判断・表現＞<br>・感謝、謝罪、弁解する際に使われる感情の表現を不定詞を用いて、会話の相手に適切に伝えることができる。<br>＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>・日常生活におけるさまざまな状況を想定し、自分の意見や主張を、適切な理由や根拠と共に書いて伝えることができる。 | ○<br>◎ | | ○<br>◎ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート<br>・取り組み状況<br>・ワークシート<br>・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Assistant 4<br><br>Speech<br>スピーチ | ＜知識・技能＞<br>・スピーチの手順を学び、与えられたテーマについて即興で発表することができる。　・発表する際に伝え方を意識して表現することができる。<br>＜思考・判断・表現＞<br>・スピーチの構成を事前に整え、何を伝えたいのかを明確にしている。　・自分の主張を即興的な部分をまじえながら聴衆に伝えようとしている。<br>＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>・自分の好きな映画に関してのスピーチを、効果的な伝え方で聞き手が理解しやすいように発表している。 | | ◎<br>◎ | ○<br>○<br>○ | ・授業での取り組み<br>パフォーマンス課題<br>・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Assistant 5<br><br>Presentation<br>プレゼンテーション | ＜知識・技能＞<br>・プレゼンテーションの目的や手順について的確に理解することができる。<br>・ブレインストーミングや資料準備、アウトラインの作成方法など発表までの流れについて理解し、効果的に発表するための技能を身に付けている。<br>＜思考・判断・表現＞<br>・プレゼンテーションの目的と効果的な実施方法について理解し、リサーチした内容を活用して、社会的なテーマについて英語で伝えることができる。<br>＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>社会的な問題について内容を理解しようとし、資料の準備や原稿作成に主体的に取り組み、積極的に意見を伝えようとしている。 | | ◎<br>◎<br>◎ | ◎<br>◎<br>◎ | ・授業での取り組み<br>パフォーマンス課題<br>・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Lesson 8<br><br>What sport do you like playing? | ＜知識・技能＞<br>・動名詞の仕組みを理解し、正しい用法を身につけている。<br>・動名詞を使って自分の意見や考えを表現することができる。<br>＜思考・判断・表現＞<br>・動名詞を用いて、さまざまなスポーツの説明ができる。また、相手を誘ったり、申し出たりする表現を動名詞で表し、相手に物事を適切に推薦することができる。<br>＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>・クラスメイトにスポーツをすることの利点や自分が所属している部活動に関して詳細に説明しようとしている。 | ◎ | ◎<br>◎<br>◎ | ○<br>○ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート<br>・取り組み状況<br>・ワークシート<br>・取り組み状況<br>・ワークシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2<br>学<br>期 | Lesson 9<br><br>Digital media has come a long way. | ＜知識・技能＞<br>・分詞の用法（形容詞的用法、補語になる用法、分詞構文、付帯状況など）について的確に理解している。<br>・性格や国民性などの行動の特徴を伝える語句や表現を理解し、適切に使用することができる。 | | ◎ | ○ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート |
| | | ＜思考・判断・表現＞<br>・分詞（形容詞的用法など）を用いて、家族または友人と撮影した写真について描写することができる。<br>・自分自身や自分の性格、日本人の一般的な特徴について具体的かつ論理的にに書いたり、伝えあうことができる。 | | ◎ | ○ | パフォーマンス課題 |
| | | ＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>自分自身や自分の性格について、グループメンバーにわかりやすく伝えようとしている。また、他のメンバーの発表を聞いて、質問したり、感想を述べようとしている。 | | ◎ | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Assistant 6<br><br>Debate<br>ディベート | ＜知識・技能＞<br>・ディベートの概要や流れについて的確に理解することができる。<br>・判定基準を理解した上で、肯定と否定のそれぞれの立場で意見を述べることができる。 | ◎ | | ○ | ・授業での取り組み |
| | | ＜思考・判断・表現＞<br>・リサーチした内容を基に論理的に考え、テーマについて英語で説得力のある主張（立論・反論・最終弁論）を述べることできる。 | ◎ | | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | | ＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>テーマについて、チームメイトと協力しながら資料の準備や原稿作成に主体的に取り組み、説得力のある意見を伝えようとしている。 | ○ | | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| 3<br>学<br>期 | Lesson 10<br><br>That’s why I decided to go back. | ＜知識・技能＞<br>・関係代名詞・関係副詞、複合関係詞の種類や用法ついて的確に理解している。<br>・日本の祝日や行事、風習などに関する単語・表現について理解し、これらを適切に使用することができる。 | | ◎ | ◎ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート |
| | | ＜思考・判断・表現＞<br>・友人や歴史上の人物についての情報を整理し、その人物を紹介することができる。<br>・日本文化について、論理的な展開を工夫しながら詳細に伝えたり、自分の意見や主張の理由・根拠を加えて伝えることができる。 | | ◎ | ◎ | パフォーマンス課題 |
| | | ＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>日本や他国の文化や風習などについて、グループメンバーにわかりやすく伝えようとしている。 | | ◎ | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Lesson 11<br><br>Which do you prefer, cheaper beans or expensive ones? | ＜知識・技能＞<br>・比較表現の用法（原級・比較級・最上級）について、慣用表現も含め的確に理解している。<br>・国際問題に関する単語・表現について理解し、これらを適切に使用するための技能を身に付けている。 | ○ | | ◎ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート |
| | | ＜思考・判断・表現＞<br>・国際問題についてパートナーに意見を伝えることができる。<br>・気候変動についての考えや意見をパラグラフに書いてまとめることができる。 | ◎ | | ◎ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | | ＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>SDGsについて関心を持ち、自分の意見を相手にわかりやすく伝えたり、相手の意見を肯定的に受け入れるなど、積極的に意見のやりとりができる。 | ◎ | | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | Assistant 7<br><br>Discussion<br>ディスカッション | ＜知識・技能＞<br>ディスカッションの意義と手順について理解し、司会者と参加者の役割をどちらも適切に果たすことができる。 | ○ | | ◎ | ・授業での取り組み |
| | | ＜思考・判断・表現＞<br>「コンビニエンスストアの良い点と悪い点」をテーマにグループディスカッションを行い、具体的な論拠を示して自分の意見を主張することができる。 | ◎ | | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |
| | | ＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>時間内で有意義なディスカッションができるように、論点を明確に意識して積極的に議論に参加しようとする。 | ◎ | | ○ | ・取り組み状況<br>・ワークシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3<br>学<br>期 | Lesson 12<br><br>I think it’s a good idea. | ＜知識・技能＞<br>・仮定法を用いて事実と違うことや実際には起こりえないことを述べることができる。<br>・助言や願望を表す様々な表現を学び、相手や自分の立場に応じた適切な助言を求めたり、伝えたりすることができる。<br><br>＜思考・判断・表現＞<br>日本の社会問題について、意見や主張の理由や根拠を具体的に示して発表することができる。<br><br>＜主体的に学習に取り組む態度＞<br>願望を表す表現や相手の助言を求める表現など、既習事項を積極的に用いて自分の意見を述べたり質疑応答で相手と会話しようとする。 | | ◎<br><br>◎<br><br>◎ | ○<br><br>○<br><br>○ | ・授業での取り組み<br>・評価問題<br>・ワークシート<br><br>・取り組み状況<br>・ワークシート<br><br>パフォーマンス課題 |

# 令和5年度 外国語・３年「コミュニケーション英語Ⅱ」（体育科）　シラバス

| 科目名 | 対象学科 | 学年 | 単位数 | 履修 |
|---|---|---|---|---|
| コミュニケーション英語Ⅱ | 体育科 | 3年 | ２単位（分割履修） | 必修 |

## １．コミュニケーション英語Ⅱの目標及び概要

⑴英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。

## ２．コミュニケーション英語Ⅱの到達目標

⑴事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
⑵説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。
⑶聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。
⑷聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。

## ３．成績評価の方法

⑴定期考査 70％（中間・期末考査）
⑵その他のテスト 20％（単語テスト・実力テスト・小テスト）
⑶授業・提出物１０％（授業参加度・発表・「予習・復習ノート」・課題）

## ４．使用教材

⑴教科書名:　NEW ONE WORLD　Communication Ⅱ　Revised Edition　（教育出版）
⑵副読本：　①NEW ONE WORLD　Communication Ⅱ　Revised Edition　「予習・復習ノート」（教育出版）　②英単語ターゲット1400（旺文社）
＊⑴⑵の教科書及び副読本は、2学年からの継続使用である。
⑶辞典：指定なし（各個人で購入したもの）

## ５．授業の展開と形態

⑴１クラス一斉授業

## ６．学習方法

⑴予習：新出語句・重要語句など内容理解の上でポイントとなる語句を辞書を引いて調べる。
：何度か本文に目を通し、おおまかな文脈を掴む。理解できている箇所とそうでない箇所を明確にして授業に臨む。
⑵授業：新出語句の発音練習の徹底、重要構文・文型・文法事項、さらに本文全体の内容を把握する。
：本文の音読と聞き取りができるようにする。
：「予習・復習ノート」の問題を解き、既習事項の内容理解を深める。
：単語力を養うため、「英単語ターゲット1400」からの英単語・熟語[新装版]で単語テストを定期的に行う。また、誤答ノートを提出する。
⑶復習：授業で使ったプリントや本文完成ノートび教科書で学んだことを整理し、理解を深める。

## ７．履修上の注意点

⑴「英単語ターゲット1400」の英単語・熟語の練習問題が週末課題となっているので、きちんとやって期限内に提出する。
⑵ファイルを用意し、授業で配布されたプリントを必ず綴る。
⑶「予習・復習ノート」は、原則として英語の定期テスト実施日に提出する。
⑷英検準2級の取得を目指しており、それに対応できる文法及び語彙力の習得を目標にしている。
⑸辞典を持参し、授業を受ける。

評価の観点の趣旨

| 1.関心・意欲・態度 | 2.表現の能力 | 3.理解の能力 | 4.知識・理解 |
|---|---|---|---|
| コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 | 英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。 | 英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 | 英語の学習を通して、英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。 |

| 学期 | 月 | 時数 | 学習項目 | | 学習内容 | 重点（指導）目標 | 評価の観点 | | | | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| 1学期 | 4・5 | 1 | ・オリエンテーション | | ・授業の進め方と評価方法 | ・授業の進め方や評価方法について理解する。 | | | | | |
| | | 12 | L6 | English Textbooks from Around the World | ・世界のさまざまな国や地域の英語の教科書を読み，日本との違いを理解する。<br>・倒置構文，強調構文（It is[was]～that [who]…），動名詞の受け身〈being＋過去分詞〉，助動詞＋完了形の用法を理解する。 | ・国や地域による身近な文化の違いについてまとめ，異文化について紹介する文を書く。<br>・本文から読み取れる情報を理解し，積極的にまとめてみようとしている。<br>・論点を明確にしながら，相手を意識して，相手にわかるような文章にまとめようとしている。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・課題などの提出状況<br>・小テストや確認問題<br>・単語テスト |
| | １学期中間考査 | | | | | | | | | | |
| | 6・7 | 13 | L7 | The Hayabusa Project | ・「はやぶさ」プロジェクトについて知り，成功するまでのさまざまな問題点や，その成果が意味するものを理解する。<br>・関係代名詞の非制限用法，関係代名詞whose，前置詞＋関係代名詞，関係副詞where，whenの非制限用法を理解する。 | ・「はやぶさ」プロジェクトの意義や経緯についてまとめ，発表する。<br>・読んだ内容を適切にまとめ，聞き手に伝わるように表現できる。<br>・英語の音声的な特徴やストーリーの流れに注意しながら，適切に表現できる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・課題などの提出状況<br>・小テストや確認問題<br>・単語テスト |
| | １学期期末考査 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 9・10 | 14 | L8 | The Origin of Santa Claus | ・サンタクロースに関する起源やさまざまな出来事を知り，サンタクロースが意味するものを理解する。<br>・仮定法過去完了，さまざまな譲歩の表現，同格を表すthatの用法を理解する。 | ・歴史的起源などを踏まえて，サンタクロースの文化的な意味について自分の意見をまとめ，発表する。<br>・サンタクロースに関する起源やさまざまな出来事，サンタクロースが意味するものについて理解できる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・課題などの提出状況<br>・小テストや確認問題<br>・単語テスト |
| | 2学期中間考査 | | | | | | | | | | |
| | 11・12 | 8 | | Reading 2 Rita, a Woman Who Loved Japan and Its People | ・スコットランド出身の主人公リタが，さまざまな苦難を乗り越えながら日本文化を吸収していく姿を通して，異文化理解について考える。 | ・物語のあらすじを，読み手に効果的に伝わるように表現を工夫しながら書く。<br>・竹鶴リタを中心とした登場人物の心の動きを理解しながら，物語を理解できる。 | ○ | ○ | | ○ | ・授業での取り組み<br>・課題などの提出状況<br>・小テストや確認問題<br>・単語テスト |
| | | 10 | L9 | The Only Japanese on the Titanic | ・タイタニック号の悲劇について知り，乗船していた日本人への評価と，その人のその後の生き方を理解する。<br>・分詞構文（現在分詞）の復習を通して，その定着を図る，付帯状況を表すwith〈with＋名詞句＋修飾語句〉，分詞構文（完了形），分詞構文（過去分詞）の用法を理解する。 | ・グループで，タイタニック号に乗船していた日本人の生き方について話し合う。<br>・論点を明確にし，相手の考えに対する自分の考えを簡潔に表現できる。<br>・討論で話し合われた概要や要点をまとめて発表できる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・課題などの提出状況<br>・小テストや確認問題 |
| | ２学期期末考査 | | | | | | | | | | |
| 3学期 | 1・2 | 12 | L10 | Japanese Agriculture Is Changing | ・近年の，品質・安全性・効率性に優れた日本の農業について理解する。<br>・進行形の受け身〈be動詞＋being＋過去分詞〉，whichの非制限用法（前の節の内容全体を受けるもの），未来進行形〈will be＋現在分詞〉，未来完了形〈will have＋過去分詞〉の用法を理解する。 | ・日本の農業について，スピーチ原稿を作成し，聞き手に伝わるように注意しながらスピーチをする。<br>・本文に書かれている日本の農業に関する論点や根拠を明確にしながら，積極的に読もうとしている。<br>・日本の農業のよい点と課題について，簡潔に表現できる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・課題などの提出状況<br>・小テストや確認問題<br>・単語テスト |
| | 学年末考査 | | | | | | | | | | |

# 令和5年度 英語 3年「英語表現Ⅰ」（体育科）　シラバス

| 科目名 | 対象学科 | 学年 | 単位数 | 履修 |
|---|---|---|---|---|
| 英語表現Ⅰ | 体育科 | ３年 | ２単位 | 必修 |

1.英語表現Ⅰの目標及び概要

(1)英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

2.英語表現Ⅰの到達目標

(1)与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。

(2)読み手や目的に応じて、簡潔に書く。

(3)聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。

3.成績評価の方法

(1)定期考査 ７０％（中間・期末考）

(2)小テスト　１０％（確認問題・文法テスト）

(3)授業・提出物２０％（授業参加度・発表・ワークブック・課題）

4.使用教材

(1)教科書名:　MY WAY English Expression Ⅰ New Edition （三省堂）

(2)副読本：　① MY WAY English Expression Ⅰ New Edition WORKBOOK（三省堂）

② 英単語ターゲット1200　（旺文社）

(3)辞典：指定なし（各個人で購入したもの）

5.授業の展開と形態

(1)１クラスの一斉授業

6.学習方法

(1)授業：教科書を中心に、重要構文・文法事項の説明を行い、音読の練習や課題文の作成を行う。

：内容理解を深めるために、ワークブックの練習問題や教科書の確認問題を解いた後、文法テストを行う。

(2)復習：教科書やプリント、ワークブックを見直し、学んだ事を整理する。

7.履修上の注意点

(1)辞典を購入し、授業を受けること。

評価の観点の趣旨

| 1.関心・意欲・態度 | 2.表現の能力 | 3.理解の能力 | 4.知識・理解 |
|---|---|---|---|
| コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 | 目標の文法や表現を使って、英語で話したり書いたりし、情報や考えなどを適切に伝えている。 | 英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 | 英語の学習を通して、英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。 |

| 学期 | 月 | 時数 | 学習項目 | | 学習内容 | 重点（指導）目標 | 評価の観点 | | | | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| 1学 | 4 | 1 | ・オリエンテーション | | ・授業の進め方と評価方法 | ・授業の進め方や評価方法について理解する。 | ○ | ○ | ○ | | ・授業での取り組み<br>・課題などの提出状況 |
| | | 2 | Unit1 L1 | ・現在形<br>・現在進行形 | ・スポーツ | ・現在形、現在進行形を使い表現することができる。<br>・自分の習慣について書いたり話したりする。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・テーマについて書く活動 |
| | | 2 | L2 | ・過去形<br>・過去進行形 | ・映画、演劇 | ・好きな俳優やスポーツ選手について書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・テーマについて書く活動 |
| | 5 | 2 | L3 | ・未来表現will / be going to | ・明日の予定、夏休みの予定 | ・be going to～を使い、夏休みの予定について書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・テーマについて書く活動 |
| | | 2 | L4 | ・現在完了形<br>（完了・結果 / 継続） | ・旅行と環境問題 | ・現在完了進行形を使って、以前から使っている「環境に良いもの」について書いたり話したりする。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・テーマについて書く活動 |
| | | 2 | L5 | ・現在完了形（経験）/ 過去完了形 | ・アニメ、マンガ、映画 | ・現在完了形を使って、何度か行ったことのあるお気に入りの場所について、書いたり話したりする。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・テーマについて書く活動 |
| | １学期中間考査 | | | | | | | | | | |
| 1学 | 6 | 1 | ・Review Exercises 1 | | ・Lesson 1～5の復習問題 | ・ある一日について書いたり話したりする。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・テーマについて書く活動<br>・英語の内容を理解する活動 |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学期 | 6 | 3 | ・Project Work A<br>・Grammar for Communication1 | | ・音声案内を聞いて、内容を伝える<br>・過去形と現在完了形のイメージ | ・聞いた内容を基に要点をまとめることができる。<br>・現在完了形を使って文を書くことができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・テーマについて書く活動 |
| | 6 | 2 | Unit2<br>L6 | ・助動詞１<br>（許可・可能/義務） | ・水族館 | ・自分の家庭のルールについて書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・テーマについて書く活動 |
| | | 2 | L7 | ・助動詞２（推量） | ・日本の野生の生き物 | ・助動詞を使い、好きな歌手や俳優がどんな人なのか想像して書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・テーマについて書く活動 |
| | 7 | 2 | L8 | ・受動態１（基本の形/by以外の前置詞） | ・日本の伝統文化 | ・受動態を使い、日本の伝統的なものや習慣について紹介することができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・テーマについて書く活動 |
| | | 2 | L9 | ・受動態２（助動詞+受動態/SVOO・SVOC） | ・交換留学生と学校生活 | ・受動態を使い、自分の持っているものについて、説明する文を書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・テーマについて書く活動 |
| | | 1 | ・Review Exercises ２ | | ・Lesson ６～９の復習問題 | ・「話の流れ」にもとづいて、自分の部屋にあるものについて書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・テーマについて書く活動 |
| | | 3 | ・Project Work B<br>・Grammar for Communication2 | | ・自分のことを話す<br>・助動詞のイメージ | ・自分や友達を紹介することができる。<br>・助動詞を使って文を書くことができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・テーマについて書く活動<br>・口頭で発表する活動 |
| | １学期期末考査 | | | | | | | | | | |
| ２学期 | 9 | 2 | Unit3<br>L10 | ・不定詞１（名詞的用法） | ・自然と科学 | ・不定詞を使って、将来なりたい職業について書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・テーマについて書く活動 |
| | | 2 | L11 | ・不定詞２（副詞的用法/形容詞的用法） | ・小旅行 | ・不定詞を使い、旅行してみたい場所とそこでやりたいことについて書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・テーマについて書く活動 |
| | | 2 | L12 | ・動名詞 | ・ポピュラー音楽 | ・動名詞を使って余暇に楽しんでいることについて書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・テーマについて書く活動 |
| | | 2 | L13 | ・分詞１（限定用法） | ・動物園の動物たち | ・分詞を使い表現することができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・英語の内容を理解する活動 |
| | 10 | 2 | L14 | ・分詞２（補語となる分詞/分詞構文） | ・エネルギー問題 | ・分詞を使ってエネルギー節約のためにやっては池にことについて書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・口頭で発表する活動 |
| | | 2 | L15 | ・知覚動詞/使役動詞 | ・ファッション、ショッピング | ・知覚動詞を使って表現することができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・口頭で発表する活動 |
| | | 1 | ・Review Exercises ３ | | Lesson 10～15の復習問題 | ・日本の年中行事について書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・英語の内容を理解する活動 |
| | | 3 | ・Project Work C<br>・Grammar for Communication3 | | ・読んだり聞いたりしたことについてメモを取り、概要を伝える。<br>・不定詞と動名詞のイメージ | ・聞いた内容を基に要点をまとめることができる。<br>・不定詞と動名詞を使って表現することができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・口頭で発表する活動 |
| | ２学期中間考査 | | | | | | | | | | |
| | 11 | 2 | Unit4<br>L16 | ・比較１（比較級/最上級） | ・テレビ番組、ラジオ番組 | ・最上級を使って書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・英語の内容を理解する活動 |
| | | 2 | L17 | ・比較２（as…as～/最上を表す表現） | ・日本の名所 | ・比較表現を使って、一番だと思うことについて書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・英語の内容を理解する活動 |
| | | 2 | L18 | ・関係代名詞１<br>（主格/目的格と省略） | ・友人と学校生活 | ・関係代名詞を使って「何かしている友人」を紹介する文を書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・英語の内容を理解する活動 |
| | | 2 | L19 | ・関係代名詞２( whose・what/that) | ・読書 | ・関係代名詞を使って好きな作家についての書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・英語の内容を理解する活動 |
| | | 2 | L20 | ・関係副詞 | ・地球、宇宙 | ・関係副詞を使って、自分がよく知っている場所について書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・英語の内容を理解する活動 |
| | | 1 | ・Review Exercises ４ | | ・Lesson 16～20の復習問題 | ・日本と外国の習慣の違いについて書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・英語の内容を理解する活動 |
| | 12 | 3 | ・Project Work D<br>・Grammar for Communication4 | | ・２つの意見の共通点や相違点を探して表現する。<br>・後置修飾のイメージ | ・聞いた内容を基に要点をまとめることができる。<br>・後置修飾を使って表現することができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・テーマについて書く活動<br>・口頭で発表する活動 |
| | | 2 | Unit5<br>L21 | ・仮定法過去/仮定法過去完了 | ・食べ物、食事、料理 | ・仮定法を使って、過去か未来に時間旅行できるとしたら何をするか書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・英語の内容を理解する活動 |
| | ２学期期末考査 | | | | | | | | | | |
| ３学期 | 1 | 2 | L22 | ・その他の家庭表現 | ・私のロールモデル（あこがれの人） | ・仮定法を使って、自分のロールモデルについて書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・英語の内容を理解する活動 |
| | | 2 | L23 | ・部分否定/準否定語 | ・クラシック音楽 | ・部分否定を使って表現することができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・英語の内容を理解する活動 |
| | 1 | 2 | L24 | ・間接話法と時制の一致 | ・将来の職業 | ・間接話法を使って表現することができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・英語の内容を理解する活動 |
| | | 2 | L25 | ・接続詞 | ・学んでみたい外国語 | ・so that を使って、習ってみたい外国語とその理由について書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・授業での取り組み<br>・英語の内容を理解する活動 |
| | 学年末考査 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2 | 1 | ・Review Exercises 5 | Lesson 21～25の復習問題 | ・「何かを上手にする方法」について書いたり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・テーマについて書く活動<br>・口頭で発表する活動 |
| | | 2 | ・Project Work E<br>・Grammar for ommunication5 | ・スピーチをする<br>・助動詞の過去形のイメージ | ・「ペットは猫が最適」という立場でスピーチを書き積極的に発表することができる。<br>・助動詞の過去形を使って表現することができる。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ・テーマについて書く活動<br>・口頭で発表する活動 |